

# 全国645進学校の進路指導教諭が選ぶ エイチ押しイチ押しの大学はここだー！

進学校の進路指導教諭は、卒業生の情報などを通して、様々な大学の情報を得ています。そんな大学選びのエキスパートがお勧めする大学はどこなのでしょう。項目ごとに見ていきましょう。

大学通信情報調査・編集部 部長 井沢秀

18歳人口の減少と連動して、国公立大と私立大ともに一般選抜の志願者が減少し、倍率が下がり続けています。入試が緩和に向かう傾向は、最新の進学校の進路指導教諭へのアンケート結果からも伺えます。

毎年大学通信は、進学校の進路指導教諭を対象に、大学入試の傾向や大学の評価に関するアンケートを行っています。2023年度は約2000校に送付し、645校からの回答がありました。

アンケートで「24年度的一般選抜の入試動向」について聞いたところ、国公立大、私立大ともに7割を超える教諭が、志願者は今年並みから減ると見えています。18歳人口が4万人弱と大幅に減少

## 面倒見が良い大学の1位は19年連続の金沢工業大

まず表1の「面倒見が良い大学」から見ていきましょう。1位は19年連続の金沢工業大でした。同大は、入学した学生に意欲目

表1 面倒見が良い大学



ranking	name	place	point
1	金沢工業大	石川	380
2	東北大	宮城	278
3	武蔵大	東京	166
4	国際教養大	秋田	135
5	東京理科大	東京	110
6	福岡工業大	福岡	87
7	明治大	東京	85
8	東京大	東京	84
9	産業能率大	東京	69
10	昭和女子大	東京	66
11	千葉工業大	千葉	64
12	津田塾大	東京	46
13	九州工業大	福岡	45
13	東京女子大	東京	45
15	国際基督教大	東京	42
16	名古屋商科大	愛知	40
17	京都大	京都	39
18	立命館大	京都	35
19	高知工科大	高知	33
	近畿大	大阪	33

無印:私立大学 ●:国立大学 ◎:公立大学

表2 就職に力を入れている大学

ranking	name	point
1	明治大	283
2	早稲田大	115
3	金沢工業大	85
4	慶應義塾大	83
	法政大	83
1	金沢工業大	65
2	中京大	41
3	福井大	39
4	明治大	25
5	名城大	18
1	大阪工業大	52
2	立命館大	25
3	明治大	23
	近畿大	23
5	金沢工業大	15
1	九州工業大	28
2	高知工科大	19
3	広島大	14
4	明治大	13
	早稲田大	13
1	福岡工業大	78
2	九州工業大	65
3	金沢工業大	21
	九州産業大	21
5	九州大	12
	熊本大	12
	近畿大	12
1	明治大	68
2	金沢工業大	51
3	法政大	26
4	早稲田大	20
5	東北大	18

無印:私立大学 ●:国立大学 ◎:公立大学

表3 教育力が高い大学

1	東京大	東京	702
2	東北大	宮城	590
3	京都大	京都	462
4	東京理科大	東京	132
5	国際教養大	秋田	130
6	大阪大	大阪	125
7	早稲田大	東京	121
8	九州大	福岡	109
9	北海道大	北海道	96
	慶應義塾大	東京	96
11	筑波大	茨城	87
12	東京工業大	東京	84
13	名古屋大	愛知	74
14	国際基督教大	東京	55
15	武蔵大	東京	46
16	一橋大	東京	45
17	広島大	広島	44
18	九州工業大	福岡	35
19	金沢工業大	石川	33
20	立命館アジア太平洋大	大分	31

標を持たせ、学生が持つ力を引き出し、更に向上への気づきを促し、『学力×人間力』総合力』との考えのもと、学生を最大限成長させることを組織的に行っています。近年は、これまで蓄積した学生の動向に関するビッグデータをAIで分析して、個々の学生に適した学習プログラムを提供す

「工科系大学は、研究などで教職員と学生の距離が近くなる分、卒業生を通して面倒見の良さを実感する教員が多いのだと思います」

表2の「就職に力を入れている大学」の1位は、ポイント数で2

るなど、学生支援をさらに進化・充実させています。

面倒見が良い大学について、その理由も聞いています。2位の東北大については、「新入生のサポート、学問への導きが個別化されていて手厚い」(青森・公立校)、「教員と学生の距離が近く、丁寧な指導が行われている」(大阪・私立校)など。3位の武蔵大については、「1年次からゼミがはじまるきめ細やかな指導体制」(東京・公立校)、「教授陣が教育に関して当事者意識が高い感覚がある」(東京・私立校)などの意見が寄せられました。

1位の金沢工業大を含め、5位東京理科大、6位福岡工業大、11位千葉工業大、13位九州工業大、19位高知工科大と工科系大学が多いことがランキングの特徴。教育ジャーナリストの小林哲夫氏は、こう話します。

表9 入学後、生徒の満足度が高い大学

1	東京大	東京	336
2	東北大	宮城	263
3	京都大	京都	223
4	早稲田大	東京	168
5	明治大	東京	142
6	北海道大	北海道	112
7	筑波大	茨城	89
8	大阪大	大阪	83
9	慶應義塾大	東京	79
10	九州大	福岡	59
	青山学院大	東京	59
12	立教大	東京	58
13	名古屋大	愛知	57
14	一橋大	東京	40
15	同志社大	京都	38
16	上智大	東京	35
17	金沢工業大	石川	33
18	近畿大	大阪	30
19	東京工業大	東京	26
	国際教養大	秋田	26
	法政大	東京	26

表8 入学後、生徒を伸ばしてくれる大学

1	東北大	宮城	437
2	東京大	東京	234
3	金沢工業大	石川	233
4	東京理科大	東京	230
5	京都大	京都	150
6	国際教養大	秋田	117
7	筑波大	茨城	83
8	北海道大	北海道	74
9	武蔵大	東京	51
10	東京工業大	東京	49
	大阪大	大阪	49
12	九州大	福岡	47
13	産業能率大	東京	42
14	九州工業大	福岡	37
	千葉工業大	千葉	37
16	福岡工業大	福岡	35
17	慶應義塾大	東京	31
	立教大	東京	31
19	名古屋大	愛知	30
20	千葉大	千葉	28
	立命館アジア太平洋大	大分	28

表7 小規模だが評価できる大学

1	国際教養大	秋田	420
2	武蔵大	東京	208
3	国際基督教大	東京	199
4	会津大	福島	150
5	一橋大	東京	128
6	金沢工業大	石川	126
7	都留文科大	山梨	123
8	産業能率大	東京	107
9	津田塾大	東京	75
10	立命館アジア太平洋大	大分	74
11	公立ほこだて未来大	北海道	58
12	神田外語大	千葉	54
13	高知工科大	高知	49
14	福岡女子大	福岡	44
15	九州工業大	福岡	42
16	福岡工業大	福岡	34
17	学習院大	東京	32
18	電気通信大	東京	31
19	下関市立大	山口	29
20	成蹊大	東京	28

表6 改革力が高い大学

1	早稲田大	東京	356
2	東北大	宮城	336
3	近畿大	大阪	258
4	東京大	東京	170
5	立命館大	京都	122
6	東京工業大	東京	103
7	東洋大	東京	100
8	明治大	東京	87
9	千葉工業大	千葉	85
10	筑波大	茨城	83
11	京都大	京都	76
12	立教大	東京	65
13	一橋大	東京	53
14	金沢大	石川	51
15	青山学院大	東京	45
16	東京理科大	東京	43
17	大阪大	大阪	42
18	九州大	福岡	41
19	北海道大	北海道	38
20	慶應義塾大	東京	34

表5 研究力が高い大学

1	東京大	東京	1,147
2	京都大	京都	968
3	東北大	宮城	713
4	東京工業大	東京	330
5	大阪大	大阪	241
6	名古屋大	愛知	146
7	筑波大	茨城	138
8	九州大	福岡	102
9	東京理科大	東京	99
10	北海道大	北海道	69
11	慶應義塾大	東京	59
12	早稲田大	東京	39
13	九州工業大	福岡	30
14	近畿大	大阪	21
15	千葉大	千葉	16
	千葉工業大	千葉	16
	芝浦工業大	東京	16
18	立命館大	京都	15
19	広島大	広島	14
20	一橋大	東京	12
	明治大	東京	12
	北里大	神奈川	12

表4 グローバル教育に力を入れている大学

1	国際教養大	秋田	796
2	国際基督教大	東京	407
3	立命館アジア太平洋大	大分	358
4	上智大	東京	312
5	東京外国語大	東京	169
6	早稲田大	東京	147
7	東京大	東京	121
8	立教大	東京	101
9	神田外語大	千葉	89
10	東北大	宮城	86
11	千葉大	千葉	70
12	関西外国語大	大阪	58
13	青山学院大	東京	48
14	同志社大	京都	46
15	筑波大	茨城	43
16	立命館大	京都	40
17	京都大	京都	37
18	九州大	福岡	31
	関西学院大	兵庫	31
20	昭和女子大	東京	30
	名古屋外国語大	愛知	30

無印:私立大学 ●:国立大学 ◎:公立大学

位以下を大きく引き離す明治大。進路指導担当教諭が評価するポイントは、「キャリア形成に対する支援や就職サポートの充実」（埼玉・公立校）、「卒業生とのつながりが強く就職に有利にはたらく」（神奈川・公立校）などでした。

2位には金沢工業大が入り、上位2校は昨年と同じ順位になりました。両大学は全国的に就職に力を入れている大学として認知されており、高校の所在地別に集計した地域別ランキングでは、6地域中、5地域でランキングしています。全国ランキングの3位は、昨年の5位から上がった早稲田大でした。

地域別の順位を詳細に見ていきましょう。「北海道・東北」は上位を明治大、金沢工業大、法政大などの他地域の大学が占め、当地のトップは5位の東北大でした。「関東・甲信越」は明治大、早稲田大、金沢工業大で、「北陸・東海」は金沢工業大、中京大、福井大、名城大と当地の大学が順当にランキングしています。「近畿」は大阪工業大、立命館大に次いで同ポイントで明治大

表5の「研究力が高い大学」

の1位は9年連続の東大でした。2位京大、3位東北大、4位東京工業大、5位大阪大など、上位を難関国立大が占めています。私立大の最上位は9位の東京理

意外なことに、SGUの中で最難関大学の一つである慶應義塾大はランキングに入っていません。経済学部などで英語のみで学位取得が可能なプログラムを実施するなど、SGUらしい教育を展開していますが、高校教諭には届いていないようです。グローバル系学部を持っていないことも、評価につながらなかった一因かもしれません。

表7の「小規模だが評価できる大学」

の上位は、国際教養大、武蔵大、国際基督教大の順です。4位以下は、比較的ポイントが近く、会津大、一橋大、金沢工業大、都留文科大、産業能率大の順で並んでいます。産業能率大の職員の方に、小規模大学のメリットについて、聞いてみました。

「自己のキャリア構想を基に課題解決のプレゼンテーションを行うなど、厳しい課題を課す総合型選抜を導入しており、その入試をクリアした学生は自己肯定感が上がり、積極的に勉学に取り組めます。そうした意識の高い学生に触発されて、一般選抜で入学した学生も学ぶ意欲が高まる科大でした。

表6の「改革力が高い大学」

は、留学状況に注目しています。「国際教養大は日本人学生が全員留学。APUは全学生の半数が海外から受け入れた留学生という点が、高評価につながっているでしょう。留学ということでは、千葉大（11位）は20年度から全員留学を打ち出していますが、初年度からコロナ禍で留学に出られませんでした。コロナがなければもっと上位に入っていたかもしれません」

SGU指定大学が順当にグローバル力を評価される

表4の「グローバル教育に力を入れている大学」

の上位には、1位の国際教養大以下、国際基督教大、立命館アジア太平洋大、上智大、東京外国語大、早稲田大、東大、立教大など、日本のグローバル化を牽引するスーパーグローバル大学（SGU）が並びます。ランキング上位は、SGUの中でも規模が小さな大学が入っています。

表3の「教育力が高い大学」

の上位は、3校のポイントが抜けています。私大最上位で4位の東京理科大は昨年の5位から順位を上げました。東京理科大の教育力の評価として、「一定の単位を取得できなければ進級できない。関門制度を設けるなど、きちんと学生を育てている」（千葉・私立校）などの意見が寄せられています。

と近畿大が3位を分け合いました。「中国・四国」は九州工業大、高知工科大、広島大。「九州・沖縄」は福岡工業大、九州工業大について金沢工業大と九州産業大が3位で並んでいます。



表10 生徒に人気がある大学

1	明治大	東京	412
2	早稲田大	東京	401
3	立教大	東京	247
4	青山学院大	東京	211
5	東北大	宮城	178
6	東京大	東京	166
7	京都大	京都	150
8	慶應義塾大	東京	140
9	近畿大	大阪	119
10	名古屋大	愛知	108
11	東洋大	東京	104
12	同志社大	京都	101
	関西大	大阪	101
14	北海道大	北海道	99
15	九州大	福岡	98
16	大阪大	大阪	91
17	筑波大	茨城	86
18	神戸大	兵庫	81
19	法政大	東京	71
20	関西学院大	兵庫	69

無印:私立大学 ㊦:国立大学 ㊧:公立大学

表11-1 生徒に勧めたい国公立大学

1	東京大	東京	971
2	京都大	京都	797
3	東北大	宮城	685
4	大阪大	大阪	243
5	東京工業大	東京	228
6	北海道大	北海道	225
7	国際教養大	秋田	156
8	九州大	福岡	155
9	名古屋大	愛知	143
10	一橋大	東京	137
11	筑波大	茨城	133
12	千葉大	千葉	55
	広島大	広島	55
14	神戸大	兵庫	44
15	九州工業大	福岡	43
16	横浜国立大	神奈川	36
17	山形大	山形	30
	金沢大	石川	30
	大阪公立大	大阪	30
20	東京農工大	東京	24

表11-2 生徒に勧めたい私立大学

1	早稲田大	東京	976
2	慶應義塾大	東京	766
3	東京理科大	東京	283
4	明治大	東京	259
5	上智大	東京	256
6	国際基督教大	東京	224
7	同志社大	京都	167
8	立教大	東京	99
9	立命館大	京都	88
10	立命館アジア太平洋大	大分	81
11	金沢工業大	石川	67
12	中央大	東京	60
13	青山学院大	東京	46
14	近畿大	大阪	39
15	関西学院大	兵庫	34
16	芝浦工業大	東京	31
17	日本大	東京	28
18	法政大	東京	26
19	関西大	大阪	25
20	武蔵大	東京	22

のは、小規模大学の良さだと思  
います」

表8の「入学後、生徒を伸ばし  
てくれる大学」の1位は東北大  
です。総合型選抜で3割の学生  
が入学する大学であり、高校と  
の関係性が強いことから、生徒の  
成長が見えやすいことが高評価  
の一因でしょう。2位以下は、東  
大から6位の国際教養大まで昨  
年と同じ順位になりました。

表10の「生徒に人気がある大  
学」では、最難関の東大が6位  
で京大が7位と、意外に順位が  
高くありません。目指したくて  
も、高得点が求められる共通テス  
トと、難関な2次試験の壁は大  
きいため、人気が上がらないので  
しょう。トップ3は明治大、早稲  
田大、立教大と私立総合大学が  
並んでいます。学部構成がバラエ  
ティに富んでいて、多様な生徒が  
志望しやすいことが一因でしょう。

表9の「入学後、生徒の満足度  
が高い大学」の上位は、東大、東  
北大、京大など。もっとも厳しい  
レベルの受験勉強を経てこそ入  
学できる第一志望度の高い大学  
は、入学後の満足度も高いとい  
うことなのでしょう。私大では4位  
に最難関の早稲田大が入りまし  
たが、慶應義塾大は9位。その  
間に割って入った明治大について  
小林氏は、こう話します。

「偏差値や地理的条件、親の資力  
などの制約がない場合、生徒に  
勧めたい大学」の国公立大(表11  
-1)は、東大、京大、東北大、大  
阪大と、上位はほぼ昨年と同じ  
で、おおよそ科研費の獲得額順に  
並んでいます。そうした中で、公  
立の国際教養大が7位に入っている  
のも昨年と同じ。秋田県にある  
公立大学ながら、全国の進路指  
導教諭が勧めたいと考えている  
大学です。

「安全志向がさらに強まる」も  
39・4%から65・1%に大きく  
上がっています。

私立大(表11-2)も早稲田大  
慶應義塾大、東京理科大といっ  
た最難関大が上位。地域別によ  
り、早稲田大は「関東・甲信越」  
と「近畿」でトップになっています。  
地域別に見て注目したいのは、全

国順位で6位に入っている国際  
基督教大です。小規模大学なが  
ら、前述の2地域で上位にラン  
クインしている、全国の教諭から認  
知されている大学です。

は教員の異動が頻繁に行われるの  
で、評価者が変わります。そうし  
た中で常に高いポイントを獲得し  
続けている大学は、その評価に普  
遍性があるといえるでしょう」

見は5・7%に留まりました。対  
して、43・3%の教員が今年より  
減ると回答しています。18歳人  
口が大幅に減ること併せて考  
えますと、センター試験から数え  
て、6年連続の志願者減となり  
そうです。

「25年度から新課程入試に切り  
替わるのを前に、24年度入試で  
確実に入学したいという受験生  
意識を如実に示す数値と言えま  
す」(予備校関係者)

58・9%の「社会的評価・イメー  
ジが良い大学」と前年と同じ結  
果になりました。この3項目の  
結果を読み解くと、現在の難関  
大人気の継続が見えてきます。  
卒業後を見据える傾向も強く、  
就活における大学生の売り手市  
場が続く中でも、「就職に有利な  
大学」が51・0%で、「資格が取  
得できる大学」が46・7%と、重  
視する傾向が見られます。

ここまで見てきました、進路  
指導教諭が勧める各項目の上位  
大学は、長年にわたって順位が固  
定化されています。その意味につ  
いて、小林氏に解説してもらいま  
しょう。

「私立校は、決まった先生が進路指  
導を続けることもあるが、公立校  
は教員の異動が頻繁に行われるの  
で、評価者が変わります。そうし  
た中で常に高いポイントを獲得し  
続けている大学は、その評価に普  
遍性があるといえるでしょう」

「安全志向がさらに強まる」も  
39・4%から65・1%に大きく  
上がっています。

「25年度から新課程入試に切り  
替わるのを前に、24年度入試で  
確実に入学したいという受験生  
意識を如実に示す数値と言えま  
す」(予備校関係者)

58・9%の「社会的評価・イメー  
ジが良い大学」と前年と同じ結  
果になりました。この3項目の  
結果を読み解くと、現在の難関  
大人気の継続が見えてきます。  
卒業後を見据える傾向も強く、  
就活における大学生の売り手市  
場が続く中でも、「就職に有利な  
大学」が51・0%で、「資格が取  
得できる大学」が46・7%と、重  
視する傾向が見られます。

次を受験生の入試に関する  
意識についてグラフを見ていきま  
しょう。グラフ1では、「共通テス  
トの志願状況」について聞いてい  
ます。24年度の共通テストの志  
願者が今年より増えるとする意

見は5・7%に留まりました。対  
して、43・3%の教員が今年より  
減ると回答しています。18歳人  
口が大幅に減ること併せて考  
えますと、センター試験から数え  
て、6年連続の志願者減となり  
そうです。

「25年度から新課程入試に切り  
替わるのを前に、24年度入試で  
確実に入学したいという受験生  
意識を如実に示す数値と言えま  
す」(予備校関係者)

58・9%の「社会的評価・イメー  
ジが良い大学」と前年と同じ結  
果になりました。この3項目の  
結果を読み解くと、現在の難関  
大人気の継続が見えてきます。  
卒業後を見据える傾向も強く、  
就活における大学生の売り手市  
場が続く中でも、「就職に有利な  
大学」が51・0%で、「資格が取  
得できる大学」が46・7%と、重  
視する傾向が見られます。

58・9%の「社会的評価・イメー  
ジが良い大学」と前年と同じ結  
果になりました。この3項目の  
結果を読み解くと、現在の難関  
大人気の継続が見えてきます。  
卒業後を見据える傾向も強く、  
就活における大学生の売り手市  
場が続く中でも、「就職に有利な  
大学」が51・0%で、「資格が取  
得できる大学」が46・7%と、重  
視する傾向が見られます。

「私立校は、決まった先生が進路指  
導を続けることもあるが、公立校  
は教員の異動が頻繁に行われるの  
で、評価者が変わります。そうし  
た中で常に高いポイントを獲得し  
続けている大学は、その評価に普  
遍性があるといえるでしょう」

「25年度から新課程入試に切り  
替わるのを前に、24年度入試で  
確実に入学したいという受験生  
意識を如実に示す数値と言えま  
す」(予備校関係者)

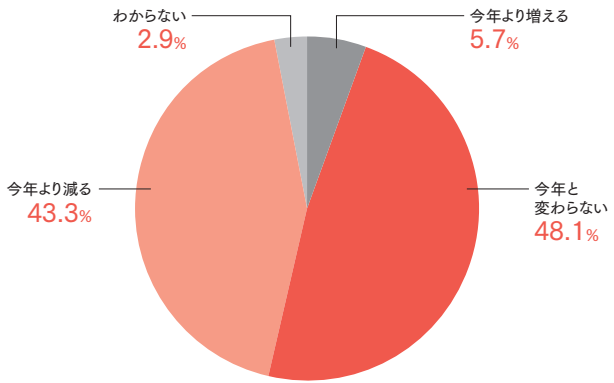
「25年度から新課程入試に切り  
替わるのを前に、24年度入試で  
確実に入学したいという受験生  
意識を如実に示す数値と言えま  
す」(予備校関係者)

58・9%の「社会的評価・イメー  
ジが良い大学」と前年と同じ結  
果になりました。この3項目の  
結果を読み解くと、現在の難関  
大人気の継続が見えてきます。  
卒業後を見据える傾向も強く、  
就活における大学生の売り手市  
場が続く中でも、「就職に有利な  
大学」が51・0%で、「資格が取  
得できる大学」が46・7%と、重  
視する傾向が見られます。

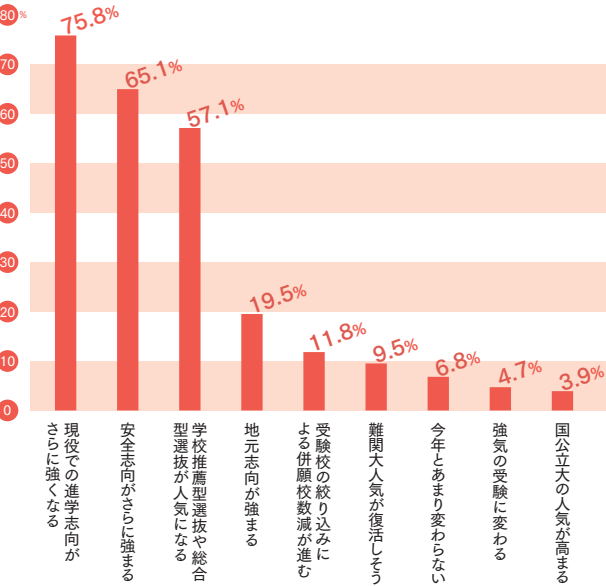
58・9%の「社会的評価・イメー  
ジが良い大学」と前年と同じ結  
果になりました。この3項目の  
結果を読み解くと、現在の難関  
大人気の継続が見えてきます。  
卒業後を見据える傾向も強く、  
就活における大学生の売り手市  
場が続く中でも、「就職に有利な  
大学」が51・0%で、「資格が取  
得できる大学」が46・7%と、重  
視する傾向が見られます。

思考力・読解力を重視する傾向が強まった  
共通テストについて、2024年の志願者は  
どうなると思いますか?

グラフ1



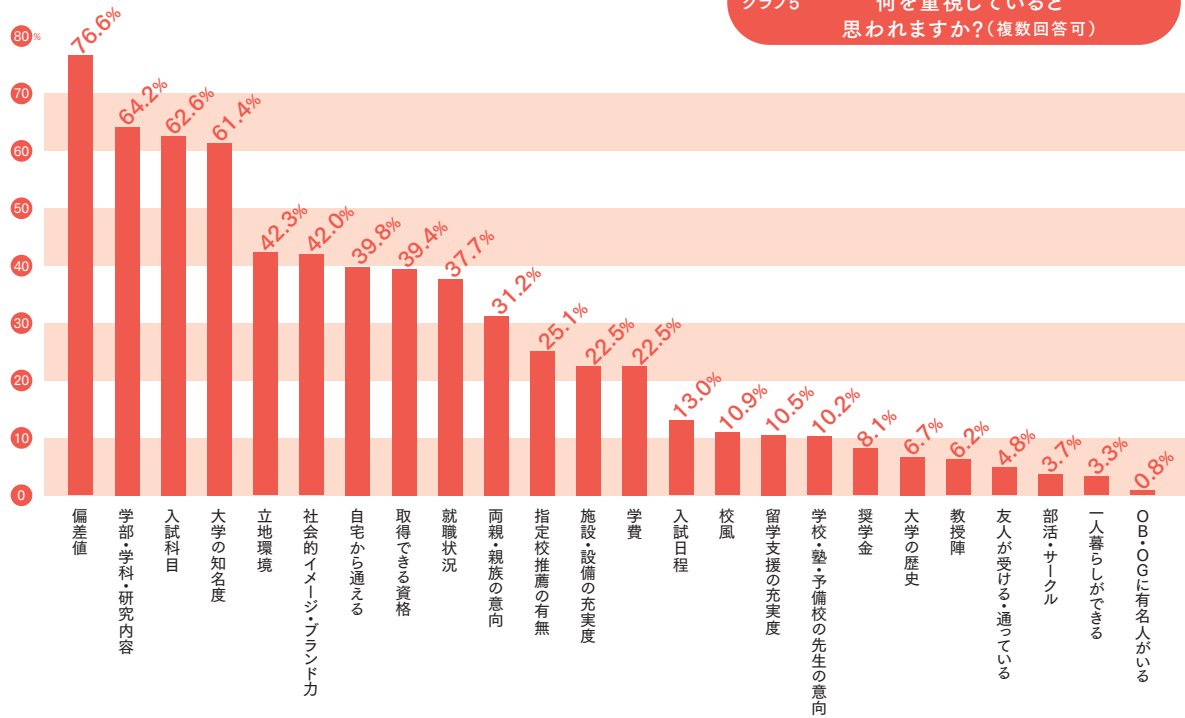
コロナの影響で、「現役志向」「安全志向」  
グラフ2 「地元志向」が強まりました。2024年の大学選びは、  
どうなるとお考えでしょうか？(複数回答可)



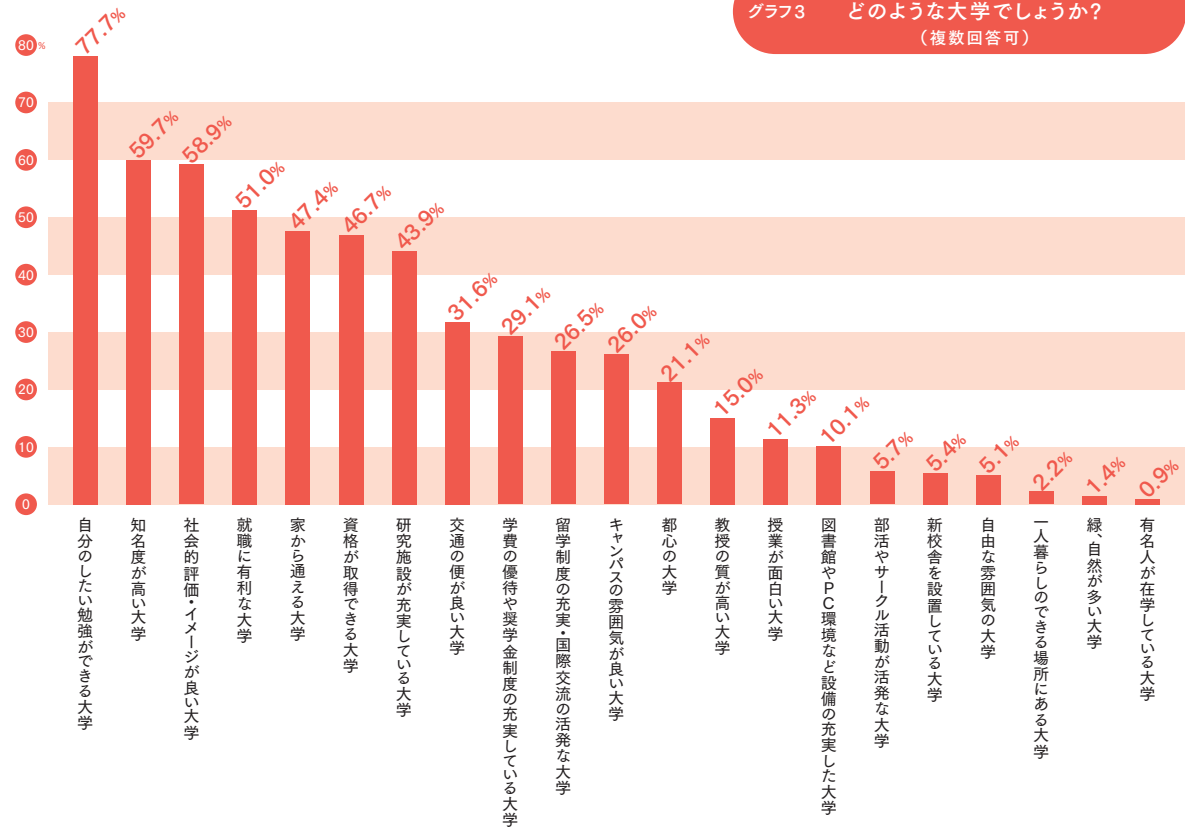
ものが上位に入りました。「学校  
推薦型選抜・総合型選抜の充実」  
が46・8%で、「1回の受験料で  
複数回受験が可能」が40・3%  
となっています。後者に関しては、  
24・0%の「地方試験の実施」な  
どとともに、受験に関する費用  
が家計の負担になっていることを  
示す結果となっています。

グラフ5は受験生が「志望校  
選びで重視すること」を聞いた  
ものです。もっとも高いのは76・  
6%の「偏差値」で、62・6%の  
「入試科目」も高く、「入れる大  
学」を探す傾向が強まっているよ  
うです。入れる大学を重視する  
と、入学後のミスマッチが心配に

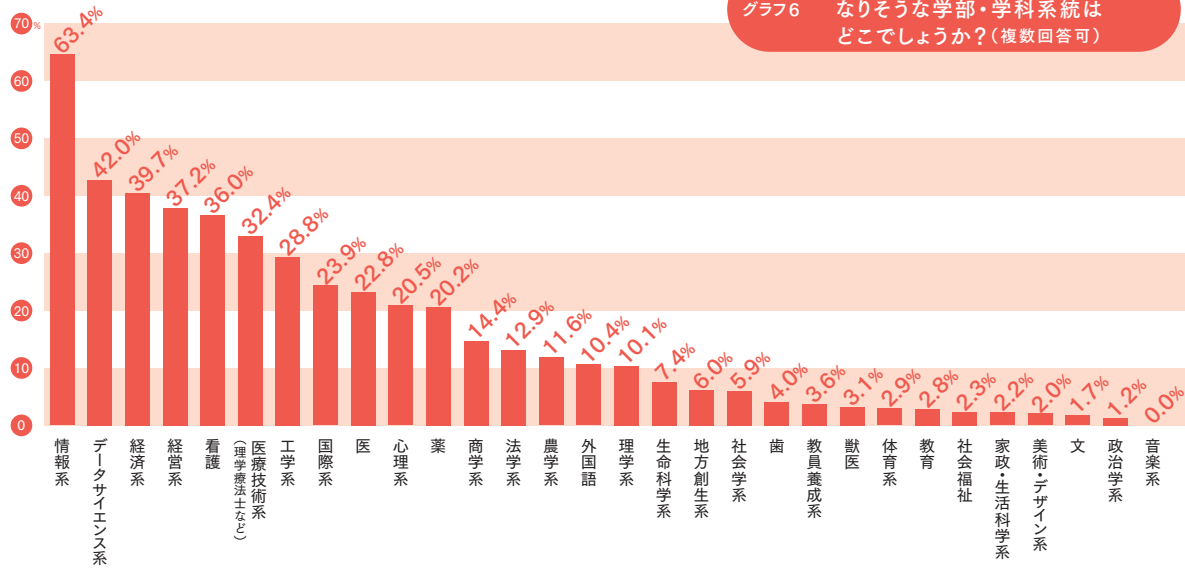
受験生は志望校を選ぶ際に、何を重視していると思われるか？(複数回答可)



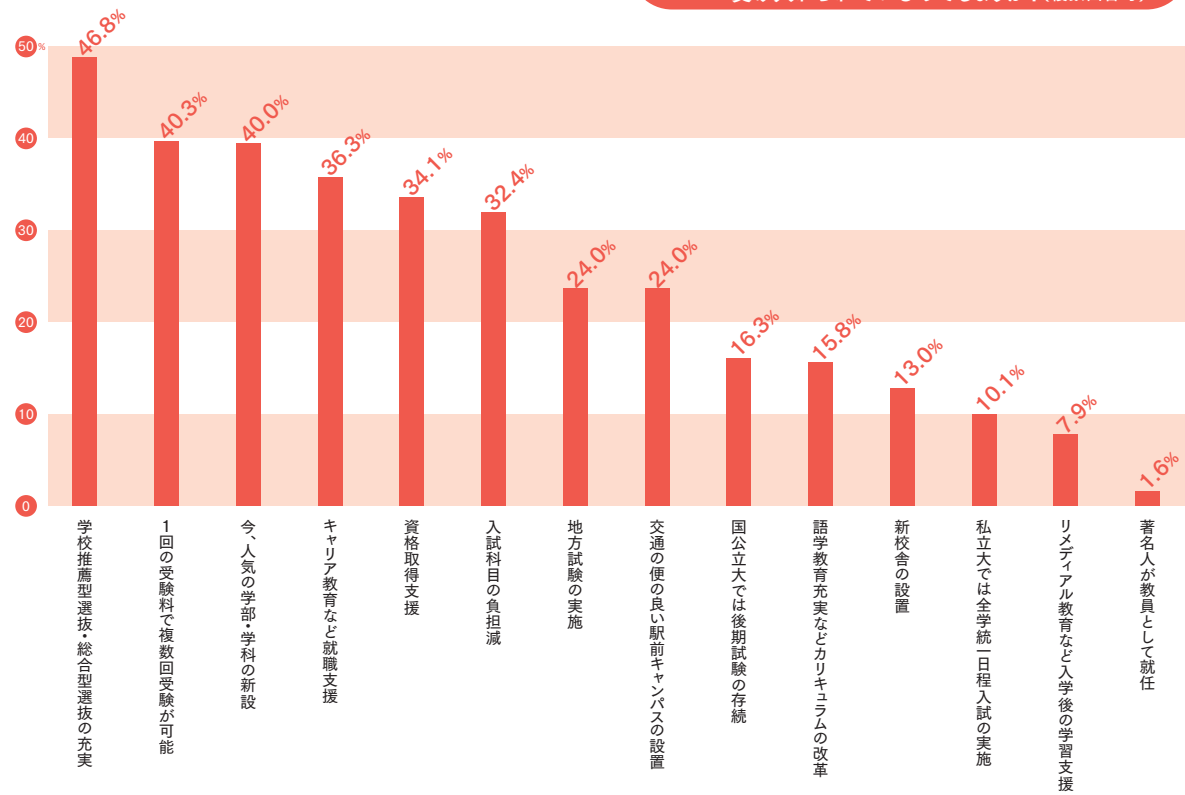
生徒に人気のある大学はどのような大学でしょうか？(複数回答可)



2024年入試で生徒に人気になりそうな学部・学科系統はどこでしょうか？(複数回答可)



大学は改革を実施し、受験生に魅力をアピールしようとしています。どのような改革が受験生に受け入れられているのでしょうか？(複数回答可)



なります。64.2%の「学部・学科・研究内容」がさらに上がり、「入りたい大学」を優先する傾向が強まることが望まれます。

最後に「**人気になりそうな学部・学科系統**」について聞いた、**グラフ6**について見ていきましょう。高校教諭がもっとも人気が高まると見ているのは、昨年と同じ「情報系」で63.4%でした。「データサイエンス系」も42.0%と高く、人材が払底しているIT人材を目指す高校生が多くなっていることが分かります。社会学系では、「経済系」(39.7%)と「経営系」(37.2%)が安定している一方で、「商学系」(14.4%)と「法学系」(12.9%)が低く、学部系統によって人気の濃淡が見られました。

25年度の新課程入試を控え、安全志向の強まりを感じる高校教諭が多くいます。しかし、翌年の入試を意識しすぎるあまり妥協してミスマッチを起こしてしまつては元も子もありません。受験のエキスパートの進路指導教諭の見立てを参考に、行きたい大学・学部への進学を最優先して志望校選びをしてください。